



●「出産育児支援金」が支給されます

お子さんが生まれた際には、健康保険から出産育児一時金が給付されますが、仙台市では、子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、それに加えて、市独自に出産育児支援金9万円が支給されます。



●「小学校給食無償化」が始まります

昨年、政府は、まずは小学校から給食費を無償化する方針を打ち出しました。これを受け、仙台市においても令和8年度から、食料費を国・県・市が負担する形で、市立小学校において学校給食費の完全無償化が実施され、バランスの取れたおいしい給食が食べられることとなります。



●「こども割!ハッピー・ファミリー・ライド」が本格実施となります

これまで期間限定で実施されていた「市営バス・地下鉄こども割!ハッピー・ファミリー・ライド」が本格実施されます。毎土日と祝日に加え、ゴールデンウィークと小学生の長期休み期間は、いつでも大人1人につき小学生2人まで市営バスと地下鉄が無料になります。一緒にお出かけする方は、親御さんでなくとも、おじいさんおばあさんなどでもOKです。



●「第2子以降保育料無償化」が実施されます

認可保育所等の入所児童について、対象者の考え方が見直され、第2子以降の保育料が無料となるとともに、第3子以降の副食費が免除となります。現在詳しい制度設計などが検討されており、令和8年9月から実施される予定です。



●「水道料金基本料」が減免されます

物価高騰の影響を受ける世帯及び事業者を幅広く支援するため、ご家庭で使われている上下水道の料金について、国の交付金を活用して、今年8月と9月検針の2か月分の基本料金が減免されます。



●「難聴高齢者補聴器購入費」の助成がスタートします

高齢者の認知機能低下やフレイル等のリスクを低減し、健康寿命の延伸を図る観点から、補聴器購入に係る費用の一部を助成する制度が新たに始まります。



●「ツキノワグマ被害防止対策パッケージ」が推進されます

昨年は全国的にクマによる被害があり、不安に思われた方も多くいます。昨年に秋に仙台市議会からの緊急要望を踏まえて策定された、市の「ツキノワグマ被害防止対策パッケージ」に基づいて、皆さんの安全安心な暮らしを守るため、引き続き捕獲体制強化や出沒抑制対策などの対策が総合的に進められます。



●「終活支援等の相談窓口」が設置されます

終活に関する相談の受け付け、終活情報の提供、市役所関連部署・専門機関の案内など「終活相談窓口」を設置いたします。又、エンディングノートも配布予定となっております。

仙台市議会 会派 自由民主党 所属

○仙台市議会 都市整備建設委員会 委員
○仙台市議会 観光戦略調査特別委員会 委員

TEL (022) 214-8716 FAX (022) 711-5687

令和8年度仙台市の新年度予算から暮らしに役立つ主な事業をお知らせします!

●「子ども医療費助成制度」が拡充されます

令和8年4月から、子育て世代の負担軽減策の一環として、子ども医療費助成の対象が18歳までに拡充されます。併せて、小学生以上で通院時や入院時にかかっていた500円の利用者一部負担金も廃止されます。

お子さんの体調が悪い時にも、安心して病院に通うことができるようになります。



令和8年第1回定例会における私の一般質問
(項目版)

1. 冬季オリンピックの機を逃さず、羽生ゆずる選手らが育ったアイスリンク仙台と連携し、フィギュアの聖地としての魅力発信を強化すべき
2. 市民から愛される強いチームであり続けられるよう、民間による力強い後押しによるバガルタ仙台的経営を進めるべき
3. 仙台の魅力を外国人目線からのニーズでくみ取るとともに、観光地へのアクセスマンを分かりやすく充実させるべき
4. 民間事業者と連携し、夜の楽しみを充実させ、観光の魅力づくりを強化し、宿泊者数や消費の増大につなげるべき
5. 観光光アンバサダーの羽生ゆずる選手やサンドウィッチマンを一日特別市長に任命することや、又ご当地検定を取り入れた観光戦略を考えるべき
6. 4月末までの運航を予定するタイとの直行便について、東北各地との連携による継続運航を働きかけるべき
7. 行政同士の交流だけでなく、文化・スポーツ・経済による市民や企業の主体的な姉妹都市交流に努めるべき
8. 街づくり協議会だけでなく、商工会議所や経済同友会等の経済界、県市が一堂に会した場を立ち上げ、県民会館跡地の利活用を検討するべき
9. 仙台駅西口におけるさくらの跡地やエデン跡地について、青葉通エリア空間構想を活かした民間開発を促すべき
10. フィンランド・オウル市における産業クラスター形式の知見を活かし、スタートアップの支援強化と地域企業イノベーション創出を進めるべき
11. 外国人の利便性向上や人材の確保に必要な仙台空港での在留カード即日交付について早急に対応するべき
12. 東北大学が進める青葉山サイエンスパークと連動した産業集積やリサーチコンプレックス形式に対応するべき
13. 富谷市と東北医科薬科大学による新病院整備にかかる再編内容や影響をどう把握し、今後対応していくのか
14. 将来の医療提供体制の確保に向け、本市の考ええる仙台医療圏の将来像を踏まえた、次期地域医療構想を進めるべき
15. 看護学部開設に向け準備を進める東北医科薬科大学に對し、本市の医療人材確保につながるような支援を検討

- 討するべき
16. 熊の捕獲体制の確保に向け、狩猟免許を有するガバメントハンター養成を含めた持続的な体制のあり方を進めるべき

令和8年度の泉区内の主要事業を
お知らせします

- | 事業名 | 事業内容 | 概算事業費 |
|---------------------|----------------------------------|--------------|
| ①子ども・若者の安全な環境整備 | ・七北田保育所建設(教育支援センターとの合築) | 181,699千円 |
| ②学校教育施設整備 | ・黒松小学校仮設教室借上 | 132,443千円 |
| ③地域づくりパートナーシップ | ・泉区役所建築 | 13,380,729千円 |
| ④百年の杜づくり | ・泉中央地区活性化 | 23,779千円 |
| ⑤機能集約型都市づくり | ・街路樹整備 | 51,494千円 |
| ⑥交通安全対策 | ・広域的道路ネットワーク整備(泉塩釜線野村、宮沢根白石線市名坂) | 155,000千円 |
| ⑦地域施設整備 | ・自販車通行空間整備(虹の丘幹線、鶴が丘幹線) | 26,760千円 |
| ⑧公園整備 | ・寺岡市民センター | 536,600千円 |
| ⑨公共施設マネジメント | ・泉塩釜線野村西、長命ヶ丘幹線 | 418,961千円 |
| ⑩集会所建設補助 | ・その他のコミュニティセンター・集会所の修繕 | 14,142千円 |
| ⑪道路、公園、街灯の緊急的修繕 | ・道路、公園 | 12,060千円 |
| ⑫橋りょう維持補修(泉区内7路線) | ・高森東公園・施設長寿命化 | 25,952千円 |
| ⑬市街街管理、維持補修(将監殿5丁目) | ・水の森公園・建築物長寿命化 | 6,200千円 |
| ⑭集会所建設補助 | ・山の寺三丁目緑地ほか | 124,000千円 |
| ⑮向陽台みんなの家新築 | ・公共施設マネジメント | 25,100千円 |
| ⑯鶴が丘一丁目集会所修繕 | ・道路施設修繕(泉区内15路線) | 521,600千円 |
| ⑰高森七丁目集会所修繕 | ・橋りょう維持補修(泉区内7路線) | 323,400千円 |
| | ・市街街管理、維持補修(将監殿5丁目) | 35,000千円 |
| | ・集会所建設補助 | 12,000千円 |
| | ・向陽台みんなの家新築 | 8,000千円 |
| | ・鶴が丘一丁目集会所修繕 | 8,000千円 |
| | ・高森七丁目集会所修繕 | 8,000千円 |

音楽ホール・中心部メモリアル拠点の複合施設
あなたはどう思いますか？

- 施設の概要
- ・所在地:青葉区青葉山(国際センター駅北側)
- ・生音の音響に優れた2000席規模の大ホール・約350席の小ホール、リハーサル室や練習室
- ・整備事業費見込み:646億円(財源は市の貯金である基金からの繰入金と地方債を予定)
- 施設の期待される効果
- ・大編成のオーケストラやオペラ・バレエ等の公演は2000席規模がひとつのスタンダード。
- ・子ども・高齢者・障害のある方等、あらゆる人に文化芸術に親しむ機会を提供
- ・青葉山に立地し、博物館や美術館、観光施設との連携や、大阪関西万博で大屋根リングを設計した藤本壮介氏設計の建築の魅力による交流人口の増加(経済波及効果約87億円)
- 今後のスケジュール
- 令和8年度 9年度 10年度 11年度 12年度 13年度
- 設計 建設工事 開館
- 検討が必要な事項(課題)
- ・必要な機能確保しつつ、できるだけ整備費や運営管理費の圧縮と財源の確保
- 私の考え
- 他政令市では、大規模ホールを会場に国内外の著名なアーティストによるコンサートや多彩な公演が開催されていますが、仙台はその機会が不足しています。子どもたちが本物の舞台芸術に触れ、心を動かされる“リアルで豊かな経験”は、かけがえのない学びになると考えます。また、防災や命を守る知恵、災害と一緒に学ぶことは、生きる力を育むことにつながると考えます。
- 新たに県民会館ができるので不要では？との声も聞きますが、仙台・宮城での公演需要は高く、市民のみならず創造活動の場となるなど大きな違いがあります。
- 整備や運営管理の費用や財源の工夫をしながら、未来を担う子どもたちのため、交流人口の拡大など仙台的な発展のため、着実に進めていくことが必要と考えます。
- 皆さんのご意見を聞かせて下さい。

皆様のご意見ご要望をお聞かせ下さい

TEL 080-3325-8833

FAX (022) 376-5232

Eメール hashihashi@nekketsu.net

URL https://nekketsu.net/